

ナミビア

主要データ

国名〔英名〕	ナミビア共和国〔Republic of Namibia〕
面積 (km ²)	824, 292
海岸線延長 (km)	1, 572
人口 (百万人)	2. 5
人口密度 (人/km ²)	3. 0
GDP (十億 US\$)	12. 56
一人当り GDP (US\$)	5, 054. 77
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、マンガン、ウラン
主要鉱産物：地金	銅、亜鉛
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省 (Ministry of Mines and Energy)
鉱業関連政府機関	地質調査所 (Geological Survey of Namibia)
鉱業法	鉱物資源法 (Minerals Act 33 of 1992)
ロイヤルティ	市場価格により鉱山エネルギー省が決定。現時点では金、銅、亜鉛、その他のベースメタル、ウランは 3%
外資法	外国投資法 (Foreign Investment Act, No. 27 of 1990) 投資促進法 (Namibia Investment Promotion Act, 2016)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	Environmental Management Act 7 of 2007
鉱業公社	Epangelo Mining Ltd. (2009. 12 設立)
鉱業活動中の民間企業	Glencore、Rio Tinto、Weatherly International plc、Paladin、CNNC など
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	近年、国営鉱山会社の設立や新規ライセンス付与の国営公社への限定が検討されたことに加え、政府持分増加や超過利潤税、輸出関税の導入などの動きが見られる。また、不遇ナミビア人への優遇政策を進めている。
2017 年のトピックス	・ Husab ウラン鉱山が 2016 年 12 月に生産を開始、2017 年 12 月に出荷開始。

1. 鉱業一般概況

(1) 鉱業概況

ナミビアにおいて鉱業は GDP の約 4 分の 1、外貨収入の約半分を生み出す主力産業であり、2017/18 年度においては 230 億ナミビア\$ (N\$) の輸出入を生み出した。ダイヤモンド、ウラン、亜鉛、銅、螢石、金、銀等が主な生産物となっており、特にダイヤモンドについては世界最大手 De Beers 社と共同で政府が会社を設立し、生産、加工等の高付加価値化を推進している。さらに近年ではウラン生産の拡大が注目されている。ウラン探鉱は 1960 年代後半から大規模な探鉱が始まり、国内に多くのウラン鉱床・鉱徴地の賦存が確認された。同国のウラン資源は、低品位ながら規模が大きいという特徴を有しており、世界原子力協会によれば、同国は 2017 年に世界生産の約 6~7% のシェアを持っており、今では世界有数のウラン生産国となっている。現在生産中の鉱山は Rossing ウラン鉱山 (1976 年生産開始) 及び Langer Heinrich ウラン鉱山 (2007 年生産開始) の 2 鉱山であるが、水の供給問題によって当初予定よりも遅れたものの、Husab ウラン鉱山が 2017 年 12 月に出荷を開始し、同国のウラン生産量は大幅に増加、2018 年末にはフル操業に至るとされ、世界最大級の生産国になると予想されている。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 国営鉱山会社の動き

政府は2009年12月に国営鉱山公社 Epangelo Mining Ltd. を政府100%出資で設立した。Epangelo は2009年の当初は鉱山プロジェクトの少数権益を保有するだけの役割しか与えられていなかったが、2011年にIsaak Katali 鉱山エネルギー大臣（当時）によって戦略鉱物（ダイヤモンド、金、銅、ウラン、石炭、亜鉛）の鉱業ライセンスについてはEpangeloに優先的に発給することが発表された。しかし、業界の強い反発により、既存ライセンスはそのまま有効であるとした上で撤回している。元々この優先的な発給措置は現行鉱業法には規定されておらず、法的根拠はなかった。現在のEpangeloの役割は、新規・既存のプロジェクトの少数権益を保有するパートナーとなっている。しかし、資金不足と自身で探査を実行できる技術者の不足といった問題を抱えており、目立った探査活動は制限されている状況にあると見られる。

EpangeloはCMN憲章（後述）上のBEE条件を満たすことができるため、パートナーとしては有用であるが、権益の取得が資金不足によってできないことから、Epangeloによる権益の取得は進んでいない。なお、公平経済力枠組（National Equitable Economic Empowerment Framework, NEEEF）の現行ドラフトではEpangeloがBEE条件を満たせるかどうかについての言及はない。

(2) 現地化（Empowerment）法導入の動き

2009年4月、政府は、排他的探鉱ライセンス（Exclusive Prospecting License, EPL）の新規申請や更新の際には、現地株主所有権の導入や現地貧困対策への取組みを求めることを発表した。2010年10月にはAnglo AmericanからVedantaへのSkorpion 亜鉛鉱山の権益売却の承認に際して、政府競争政策委員会（NCC）が、地方投資家への株式売却の勧告等を実施した。こうした中で政府は、鉱物資産の黒人所有の拡大の方針を示しており、2016年にBEE政策を主導するSaara Kuugongelwa-Amadhila 首相から保有義務化が盛り込まれた法案が国会に提出された。法案には、歴史的に不遇を享受してきたナミビア人（Historically-Disadvantaged Namibians, HDNs）の所有権の最低保有率が25%であること、その所有権の移転はHDNs間でのみ有効であること（ただし所有権の移転は公正な市場価格に基づく）が盛り込まれていた。現行の鉱業法（1992年制定）にはエンパワーメント条項はないが、2014年に発表されたナミビア鉱業協会（Chamber of Mines of Namibia, CMN）が導入したナミビア鉱業協会鉱業憲章（the Namibian Mining Charter for Sustainable and Broad-Based Economic and Social Transformation in the Namibian Mining Sector in 2014, CMN憲章）では5%の持分をHDNsに配分すべきとしており、鉱業ライセンス、探鉱ライセンス申請の際には政府からライセンスの承認条件の一部として盛り込まれている。鉱業協会はNEEFは投資家離れを招くとして批判している。

その後、NEEF法案については、2018年2月終わりに大統領が主導する内閣のワークショップが開かれ、国会への再提出へ向けて内容の検討を進める旨が発表された。法案の検討には4~6か月を要すると見られていたが、現時点では国会への再提出時期は未定となっている。法案のポイントである事業の25%のHDNs保有割合の義務化については、産業界の反発も強く、2018年4月にはHage G. GEINGOB 大統領が削除する意向を示しており、政府は盛り込まない方針に転換している。

(3) 高付加価値化政策の動き

ナミビアの産業化を目指した長期開発戦略ビジョン2030（2004年6月）を定めたことにより、鉱業部門の高付加価値化政策は過去5年間で大きく進化、ナミビアの資源を利用した国内製造業を奨励することで、ナミビアの鉱業政策において政府が高付加価値化の促進の機会を模索するとしている。上流から下流事業の実態に即した政策を実施するべく、鉱山エネルギー省によって、政府-産業界の共同付加価値委員会（Joint value addition committee, JVAC）が設立された。鉱山エネルギー省が主導し、他省庁、鉱業界、ステークホルダーの代表者がメンバーとして含まれている。JVACはどの鉱物が

加工事業に適するのか、付加価値化を促進するための戦略、インセンティブと付加価値税の組み合わせをどうするかについて検討が進められている。既に一部の製錬・精錬事業や加工事業について合意がなされている。

(4) 鉱業関連税制の動き

法人税については、一般企業の33%に対し、鉱山企業は37.5%、ダイヤモンド関連企業に関しては55%が課されている。

ロイヤルティは市場価格により鉱山エネルギー省が決定するが、2017年12月時点では金、銅、亜鉛、その他のベースメタル、ウランは3%である。

2011年には政府は鉱石の付加価値化を促すため、最大2%の鉱石輸出関税及び超過利潤税(windfall tax)の導入を可能にする税制改正案を承認しており、今後課される可能性がある。

複数の省にまたがるJVACが打ち出した高付加価値政策は、雇用創出と輸出収入の増大を図る。その一環として、2017年1月施行の輸出課税法(Export Levy Act)を制定し、鉱石の鉱種毎に輸出価格の0~2%の輸出税が課されることとなった。また、長期開発戦略ビジョン2030により、ナミビア経済高度化の一環として、未加工の鉱物資源に対する輸出税の課税を2017年から開始した。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ウラン	3.0	3.7	3.7	0.2	6.4	4
亜鉛	123.7	118.5	134.4	13.4	1.0	15
マンガン	38.4	16.9	27.9	65.6	0.0	21

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

(2) 主要金属地金生産量

僅少

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

表 3-2. 主要金属輸出量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
鉄鉱石	0.3	0.6	0.5	-6.8	南ア
マンガン鉱石	20.2	11.3	31.9	182.6	シンガポール、中国
銅鉱石	25.1	86.2	56.4	-34.6	スイス、中国
鉛鉱石	11.9	76.3	92.7	21.4	スイス、中国
亜鉛鉱石	109.7	65.9	93.3	41.6	加、中国、ベルギー
ウラン鉱石	3.6	4.3	4.6	7.5	仏、中国、米

(出典: Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2015年(千t)	2016年(千t)	2017年(千t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	5.3	0.0	0.0	-80.3	加、南ア
マンガン鉱石	0.0	7.6	-	-100.0	モロッコ、南ア
銅鉱石	185.2	156.2	156.8	-15.3	ブルガリア、ペルー、ギリシャ

(出典 : Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益 : %)	鉱種	2017年生産量(千t)	備考
Tschudi (Tsumeb West) 鉱山	Weatherly International plc. (97.5)、非公開(2.5)	銅、鉛、銀、亜鉛	15	銅年産。
Skorpion 鉱山	Vedanta Ltd. (100)	亜鉛	85	資源量減少も 2020 年までは生産継続の予定。
Rosh Pinah 鉱山	Trevali Mining Corp. (90)、Mine Workers(10)	亜鉛 鉛 銀	45 3 125koz	2018 年計画生産量を記載 2017 年 8 月に Trevali が Glencore から買収。
Rossing 鉱山	Rio Tinto(68.6)、イラン政府(15)、Industrial Development Corporation of South Africa (10)、Private Interest(3.4)、ナミビア政府(3)	ウラン	2.1	1976 年生産開始 年産能力 4,500t
Langer Heinrich 鉱山	Paladin Energy Ltd. (75)、China National Nuclear Corp. (25)	ウラン	-	2006 年生産開始 生産中止中
Husab 鉱山	China General Nuclear Power Company (90)、Epangelo(10)	ウラン	-	2017 年 12 月生産開始 15MM ポンドの生産目標
Aukam 鉱山	Gratomic Inc. (63)、Next Graphite(37)	グラファイト	10	生産能力 2018 年生産開始
Okanjande 鉱山	Gecko Namibia(100)	グラファイト	20	2017 年生産開始
Otjozundu 鉱山	Shaw River Manganese Ltd. (100)	マンガン	-	2014 年生産開始

(出典 : 各社 HP 等)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬・精錬所名	権益所有企業(権益 : %)	鉱種・形態	2017年生産量(千t)	備考
Tsumeb 製錬所	Dundee Precious Metals Inc. (加) (100)	粗銅	219.3	240kt の年産能力あり。
Skorpion 精錬所	Sterlite Indstrs Ltd. (100) (Vedanta Resources 子会社)	亜鉛	90.0	150kt の年産能力あり。

(出典 : 各社 Annual Report 等)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況

プロジェクト名	鉱種	権益保有企業 (%)
Abenab	バナジウム、鉛、亜鉛、銅、レアアース	AVZ Minerals Ltd. (95)、非公開(5)
Anomaly No. 18	ウラン	Zhonghe Mining Industry Dev. (100)
Berg Aukas	亜鉛、鉛、銀、バナジウム	Weatherly International Plc(90)、ECN Mineral Exploration & Dev. (10)
Dome	ウラン	GoviEx Uranium Inc. (90)、Manica Minerals Ltd. (10)
Dordabis	銅	North River Resources Plc. (100)
Epembe	タンタル、ニオブ、ウラン、リン	African Mining Capital Pty. Ltd. (64)、International Base Metals Ltd. (31)、Namibian Former Robben Island(5)
Etango	ウラン	Bannerman Resources Ltd. (95)、One Economy Corp. (5)
Grootfontein	銅、亜鉛、鉛、銀、バナジウム	Golden Deeps Ltd. (80)、非公開(20)
Guchab	銅、銀	Sabre Resources Ltd. (80)、非公開(20)
Haib	銅、金、モリブデン	Deep-South Resources Inc. (100)
Hammerhead	鉄鉱石、マグネタイト、銅、銀	AVZ Minerals Ltd. (95)、非公開(5)
Huab	ウラン	Golden Deeps Ltd. (80)、Huab Energy Pty. Ltd. (20)
Kalahari Copperbelt	銅	Hartmann Geoservices CC (100)
Kaoko	銅、銀	Teck Resources Ltd. (65)、INV Metals Inc(35)
Kombat	銅、鉛、銀	Trigon Metals Inc. (80)、Government of the Republic of Namibia(10)、非公開(10)
Kuiseb	銅、金	Takoradi Ltd. (70)、非公開(30)
Kunene	銅、コバルト、亜鉛	Namibia Critical Metals Inc. (95)、Local interest(5)
Lofdal	レアアース	Namibia Rare Earths Inc. (100)
Marenica	ウラン	Marenica Energy Ltd. (75)、Xanthos Mining Ltd. (20)、Millennium Minerals(5)
Mile 72	ウラン	Metals Australia Ltd. (100)
Namib	鉛、亜鉛、銀	North River Resources Plc. (100)
Norasa	ウラン	Forsys Metals Corp. (100)
Nova Energy JV	ウラン	Deep Yellow Ltd. (39.5)、JOGMEC(39.5)、Toro Energy(15)、Sixzone Investments(6)
Omitiomire	銅、金、銀、パラジウム	International Base Metals Ltd. (100)
Opuwo	コバルト、銅、亜鉛、マンガン	Celsius Resources Ltd. (76)、Kunene Resources Holdings(24)
Pavian & Hoek	亜鉛、鉛、銀、銅、バナジウム	Sabre Resources Ltd. (70)、非公開(30)
Rehboth	銅、銀	Jiangxi Bureau Geological (100)
Rubicon	リチウム、タンタル、錫	Desert Lion Energy Inc. (80)、非公開(20)
Soris	リチウム、タンタル、錫	Montero Mining & Exploration(80)、非公開(20)
Steinhausen	銅、金、ニッケル	International Base Metals(100)
Tschudi Extension	銅、銀	Congo Namibia (Pty.) Ltd. (80)、非公開(20)
Tsumeb Slag	亜鉛、鉛	Dundee Precious Metals Inc(100)
Uis	リチウム、タンタル、錫	Montero Mining & Exploration (95)、非公開(5)
Witvlei	銅、銀	North River Resources Plc. (100)

(出典：各社 HP 等)

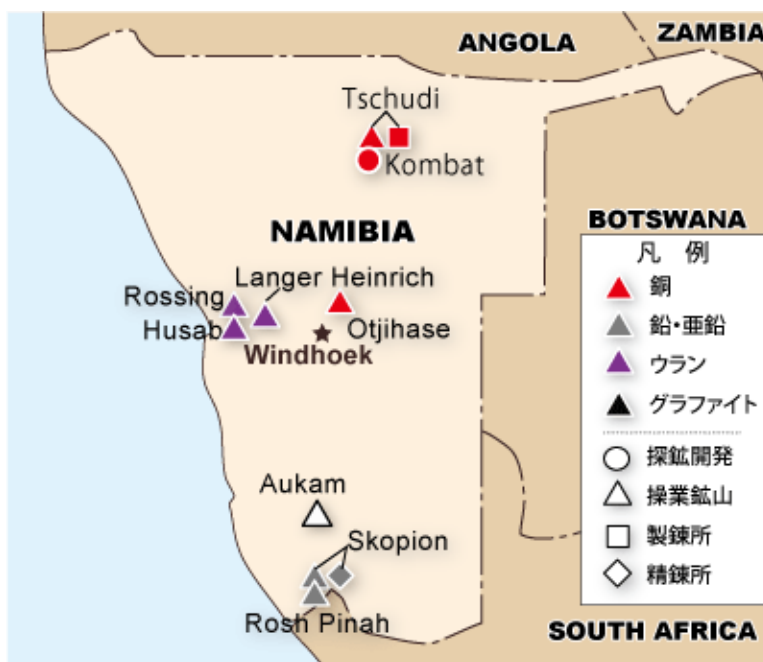


図 1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ JOGMEC は、ブラジルの亜鉛生産大手である Votorantim Metais 社の子会社である Votorantim Metais zinco 社と、オタビ西地域における亜鉛・鉛・インジウムをターゲットとした共同探鉱契約を 2015 年 8 月に締結し探鉱を実施・継続している。

7. その他トピックス

- ・ 2017 年 11 月 28 日付のメディア報道によると、Vedanta Zinc International の Deshnee Naidoo CEO は、Vedanta Resources 社はナミビア Skorpion 亜鉛精錬所に 2 億 US\$ を投資し、亜鉛精錬における地域拠点にする戦略に取り組んでいる。同社は、南アに Gamsberg 亜鉛鉱山、Black Mountain 亜鉛鉱山、ナミビアに Skorpion 亜鉛鉱山を所有しており、同精錬所を亜鉛精錬における中心的プラントにする。同社は Gamsberg 鉱山に 4 億 US\$ を投資しており、年間 25 万 t の亜鉛精鉱の生産を予定している。また、Black Mountain 鉱山は鉛、亜鉛、銅、銀を年間 7 万 t 生産しており、最終的に年間 16 万 t の生産量を持つ鉛鉱山になると予測されている。2018 年中旬には、Gamsberg 鉱山の生産拡張が予定されているが、同氏によると南アの電力供給量が十分であるかどうかは拡張の鍵になるとした。
- ・ Tom Alweedo 鉱山エネルギー大臣は 2018 年 8 月に開催された THE 2018 ELECTRICITY SUPPLY INDUSTRY (ESI) FORUM において、ナミビアは電力生産の面で自立を促すため、Nampower 社は 171MW の再生可能エネルギー発電プロジェクトからの電力購入契約 (PPA) を 18 の独立電力会社 (IPP) と締結した。さらに、内閣は、今後 20 年間で国のニーズを満たすための発電オプションを最適化する国家総合的資源計画を承認した。ナミビアは依然として電力を輸入に過剰に依存しており、必

要な電力の約 60%を輸入している。電力利用が可能な住民は人口の 50%以下となっており、より多くの電力を国内で発電し、電力インフラを拡大する必要があると述べた。

- ・ 2018 年 8 月、Saara Kuugongelwa Amadhila 首相は地元紙のインタビューにおいて、4 月の Hage G. GEINGOB 大統領の発言を受けて NEEEF 法案に HDNs の持分を 25%以上とすることを盛り込まないとした政府の方針について、HDNs の持分を 25%以上とすることは不公平の是正的手段としては最適でないとの見解を述べた。政府としては高付加価値化政策に注力すべきとした。一部の野党はこの方針について反対している。NEEEF 法案の議会への再提出の時期については不明である。

(2018. 8. 17 ロンドン事務所 吉益英孝)